

平成12年度 社団法人音楽電子事業協会 事業報告

(平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)

(1) 理事会の開催

1. 平成12年5月16日(平成12年度第1回理事会)

- ・ 社団法人音楽電子事業協会「第4回通常総会議案書」の承認
平成11年度 決算報告及び監査報告の審議、承認
平成12年度 収支予算案、及び特別会計設置案の審議、承認
- ・ 社団法人音楽電子事業協会の平成12年度役員(理事、監事、顧問)改選案の承認
- ・ 平成12年度の諮問委員会、専門委員会の委員長、副委員長案の承認

2. 平成13年3月23日(平成12年度第2回理事会)

- ・ 平成12年度決算見込案及び平成12年度事業報告案の審議
- ・ 平成12年度事業計画案及び事業予算案の審議
- ・ 平成13年度、新任理事案(交替)の審議
- ・ 新入会希望社の入会審議承認
- ・ 第5回通常総会、開催および付議事項の承認

3. 書面審議

- ・ 4月18日 アークテック株式会社の入会が審議、承認された。
- ・ 6月20日 インフォコム株式会社の入会が審議、承認された。
- ・ 7月6日 株式会社ビーエムビー・ドットコムの入会が審議、承認された。
- ・ 8月31日 国会図書館と「パッケージ系電子出版物の納入及び利用に関する合意書」を締結する事が審議、承認された。
- ・ 9月1日 ローム株式会社、沖電気工業株式会社の入会が審議、承認された。
- ・ 9月18日 「業務用通信カラオケによる管理著作物の利用に関する合意書」をJASRACと締結する事が審議、承認された。
- ・ 10月30日 日本電子専門学校の入会が審議、承認された。

(2) 運営委員会の開催

1. 平成12年度 第1回 運営委員会(平成12年9月20日)

- ・ 8月末日現在の収支実績報告
- ・ 「デジタルミュージック・フェア ～MIDI WORLD 99～」の開催結果報告
- ・ 専門委員会 報告
 - MIDI規格委員会 モバイルMIDIワーキンググループの活動状況と今後の活動予定(日経産業新聞6月21日記事)
 - 著作権・ソフト委員会 8月28日の官報公告「社団法人日本音楽著作権協会著作物使用料規程の一部変更要領」に至るカラオケ部会、インターネット部会、モバイル部会の活動報告
 - ハードウェア委員会の上期活動状況報告
 - MIDI電子透かしプロジェクトの進捗状況報告
 - 2級MIDI検定試験の実績報告(12年5月筆記、7月実技)
 - 13年度デジタルミュージック・フェアの方向性検討経過の報告
 - 1394プロジェクトの進捗状況の報告

2. 平成12年度 第2回 運営委員会(平成13年2月21日)

- ・ 平成12年度 収支決算見込み報告審議
- ・ 平成12年度 委員会別、事業報告案の審議、承認
- ・ 平成13年度 委員会別、事業計画の審議、承認
- ・ 平成13年度 収支予算案の検討、審議
- ・ その他

平成12年度 社団法人音楽電子事業協会 事業報告（専門委員会）

（平成12年4月1日から平成13年3月31日まで）

（1）ハードウェア委員会

1．体会議（環境問題、安全規格の両部会合同 12/12）

- ・ 新委員長中田氏の選任と委員会運営方針検討

2．委員長・部会長会議（9/12、1/23、2/6）

- ・ 委員会活動の問題点、今後の方向性を検討
- ・ 全国楽器協会との意見交換会（主として環境問題に関する情報交換の必要性）
- ・ ハードウェア委員会活動について委員会登録会社（22社）に委員会活動に対する要望等のアンケートを実施
- ・ バックアップバッテリートラブルの事情確認と対処方法の検討（HPに掲載）

3．安全規格部会

年5回の部会を開催

- ・ IEC-Jを取り入れた音楽電子機器の安全性の電取自主依頼試験を4件（1件は予定）（不適合2件）（日本品質保証機構）
- ・ NEMKOとAMEIの交流会実施
- ・ 安全規格関連の規格調査と変動状況把握及び会員への情報提供
電気用品安全法の動向、UL6500の改定動向、中国CCEE規制と電子楽器、EUマーケットサーベイランス、EN60065第二版、アルゼンチン規制動向、韓国電気用品安全管理法
- ・ EMC（電波障害）関連の状況調査と情報提供
家電用品高長波抑制ガイドラインの改正についての把握と内容提示
測定の不確かさについて、最新オフィシャルジャーナルの提供
- ・ PL関連情報の情報収集と提供
- ・ 外部委員会及び外部団体の協議会へ出席、意見の提出
第92委員会、家製協PLセンター連絡会、電気用品調査委員会、電子情報技術産業協会（JEITA）CISPR13国内答申WG

4．環境問題研究部会

- ・ 年5回の部会を開催、国内外の環境に関する法・規制の勉強と情報交換
容器包装関連リサイクル法、家電リサイクル法、EC廃電子電気機器法案、資源有効利用促進法、PRTR（特定化学物質）法、省エネルギー法、循環型社会基本法。
- ・ 見学会の実施（6月6日）
廃電子機器リサイクル工場見学（日新産商株式会社、11名の参加）
- ・ 勉強会の実施 2回（4月4日、9月6日）
鉛フリーハンダについて
鉛の環境負荷低減要求が高まる中、鉛に対する規制動向や鉛フリーハンダの開発状況を

理解するための勉強会を2回開催（千住金属工業株式会社の豊田氏、南氏、本多氏）

（2）MIDI 規格委員会

1．モバイルMIDIガイドラインを作成

- ・ 携帯機器への配信用演奏データのフォーマットの標準化に向け、他業界にも呼びかけ、WGを発足（モバイルMIDIワ－キング）（6/21日経産業新聞）
- ・ 15回のWGを開催して原案を完成、
- ・ GM LITEとして世界標準化に向け、MMAと協議（英文作成）
（MMA総会-1/21-承認のためのプレゼンテーションを行なった）
- ・ MMAにてGM LITEが承認された。（2/20）

2．MMAとの連携強化

- ・ NAMMビジネスツアーの実施、（MMA総会参加、MMAとのミーティング）
- ・ MIDI関連規格立案、規格化のスピードアップ、コミュニケーション強化のため共同メールリングリスト設置を検討

3．AMT文書の内容検討

- ・ 「MIDI Over Alternate Media Transports」と関連文書「Guideline for Use of Media Transports」の内容について検討

（3）著作権・ソフト委員会

1．定例会の開催

- ・ 10回開催、最新のデジタル技術及び話題のデジタル新規事業を紹介する、内外講師によるセミナー勉強会を10回開催、多くの会員が受講した。
- ・ 4月「映像MIDIレコーダ/プレイヤーのご案内」（株）アストコーポレーション
- ・ 5月「デジタルネットワークとレコード産業」（株）ソニー・ミュージックエンターテインメント
- ・ 6月「インターネット広告の現状について」（株）インプレスコミュニケーションズ
- ・ 7月「モバイルコンテンツビジネスの現状」（株）バンダイ
- ・ 9月「@BARAI（アットバライ）について」（株）セガ・エンタープライゼズ
- ・ 10月「次世代携帯電話と世界のワイヤレスインターネット」三菱電機（株）
- ・ 11月「デジタルTV放送でのコマース実験と今後の展開」（株）アスキー
- ・ 12月「遊ぶ！音楽ソフト。その現状と通信サービスへの応用可能性」（株）エムゾーン
- ・ 1月「次世代インターネットとブロードバンドについて」（株）インターネット総合研究所
- ・ 3月「楽譜配信の事例研究」ヤマハ（株）&カシオ計算機（株）

2．著作権等管理事業法の説明会

2月22日 文化庁長官官房著作権課の川瀬真課長補佐を招き、平成13年10月1日より施行

される著作権等管理事業法の説明会を開催した。目的、定義、運用、監督、協議、裁定等について説明、質疑応答を含め2時間の説明会になった。

3. ソフト部会

MIDI セミナーの実施

「デジタルミュージックフェア2000」において MIDI セミナーを実施

松武秀樹氏「MIDI 古今東西ミレニアム講座」61名の参加者

電子透かし推進P」に参画

定例会のセミナーの提供

4. インターネット部会&モバイル部会

- ・ 「インタラクティブ配信による管理著作物の有料利用に関する暫定合意」（10年11月締結）を一部修正、本合意化に NMRC（ネットワーク音楽著作権連絡協議会）を通じ協議合意、本規程（13節）となる。（平成14年3月31日まで有効）
- ・ 但し着信メロディ等を中心とした著作権使用料は NMRC を通じ、JASRAC と協議「45秒以内でかつ携帯電話から外にデータコピーが出来ない」という前提で既存の7.7円を5円に減額成功
- ・ 実態ビジネスから5円でも高すぎると考え、更に NMRC と JASRAC の間でモバイル分科会を設置、継続的に協議を続ける
- ・ 違法着信メロディサイトの排除
違法着信メロディを排除するため、JASRAC と調整。
- ・ JASRAC の提示したインタラクティブ配信の減額基準（3項目×5%）を NMRC を通じ受入る事を決める。

5. カラオケ部会

- ・ JASRAC と継続協議となっていた「業務用通信カラオケ音楽著作権使用料規程」の「本規程化」の協議を実施合意終了した。
- ・ 著作権等管理事業法の改訂に伴う対応策として、「見直し条項」に同法案成立後の影響によっては、「本規程の見直し」協議を行なう事明記した。
- ・ カラオケ部会としては単一団体での管理が望ましい見解を JASRAC と合意した。

6. パッケージ部会

JASRAC が事実上使用しているインタラクティブ性のあるソフトにおける使用料規程案について、8回の部会を開催

- ・ JASRAC 案の検討、適用が予測されるソフトの確認
- ・ 他団体の取り組みの調査及び連携
- ・ JASRAC への申入れ書の検討
- ・ JASRAC との非公式協議

(4) 事業委員会

「デジタルミュージック・フェア2000 ~MIDI WORLD ~」を東京ビッグサイト・西ホールにて、平成12年7月20日~23日の4日間 好評裡に開催。

- * 主催 社団法人音楽電子事業協会と日本経済新聞社の共催、11社参加
- * 通産省、文化庁、日本楽器フェア協会の後援を得
- * 入場者 138,199人(「ぱそまる2000」と併催)
- * 事業規模約 31,722千円であった。
- * 「ミレニアム特別企画」を実施
 - ・ シンセサイザー・ミュージアム(創成期から現在に至る歴史的名機と最新機の展示及びデモ演奏 JSPA)
 - ・ MIDIスペシャル・トップ・フォーラム「電子楽器の発展と未来」(ヤマハ和智常務、ローランド梯会長、JSPA会長富田氏)を7/22開催、約180名の聴衆が参加。
 - ・ MIDIセミナー「MIDI古今東西ミレニアム講座」(松武氏)約60名の受講者
 - ・ MIDI検定セミナー(入門講座、初級講座、中級講座、2級上級講座、MIDIプロダクション講座)を連日開催

2001年度デジタルミュージックフェア(MIDI WORLD)のあり方を検討

- ・ 幹事会にて2001年度単独開催を検討したが、中止を決定。
- ・ 楽器フェアに社団法人音楽電子事業協会として参加することを決定、内容は今後検討する。

(5) マルチメディア推進委員会

- ・ マルチメディア人材育成の教材の改訂作業を中止
- ・ 今後のマルチメディア推進委員会の活動方向について幹事会にて検討中

(6) デジタル・レコーディング委員会

「デジタル・レコーディングに関わるメーカー間の技術的連携を取り、委員会で検討された事項(問題点の認識と改善)でユーザーにとって必要な情報をホームページ上に反映させた。」

(10回の委員会)

デジタルレコーディングに関する勉強会を、メンバーのレベルアップのため実施。

3回実施(DVD、同期、MIDI)

(7) MIDI認定制度研究委員会

第1回・2級検定試験の実施

平成12年5月28日、1次筆記試験を実施 976名の応募があった

1次合格者 350名 (35.7%)、2次合格者 127名 (13%)、
2級合格者は高度の知識と技術を有する者のみ合格した。MIDI 制作現場で則戦力として活躍
できる人材と期待できる。

第3回3級検定試験・第2回2級筆記試験を実施

平成13年1月28日、全国北は旭川から南は熊本まで80会場(内島村楽器47会場)(昨
年は72会場)にて実施、

3級2145名、2級593名の応募、合計2739名。

合格者、3級1536名(71.6%)、2級筆記240名(40.5%)

第2回MIDI検定2級実技試験を実施予定。

平成13年3月13日~3月30日までに東京(アップル本社、富士通マイゼミナール)大阪
(ローランド、三木楽器心斎橋サロン、ルビコン大阪)名古屋(名古屋自由短期大学)にて、
応募者295名。

ガイドブックの発刊、セミナーの実施

JSPAのスタッフのお力により

- ・「MIDI検定2級公式ガイドブック」を平成12年4月発売
- ・「ミュージック・メディア実務ノウハウ」(MIDI検定2級実技試験のためのガイドブ
ック)を平成13年2月発売
- ・「デジタルミュージックフェア」(7月20日~23日)にて初級、中級、上級、実技のセ
ミナーを4日間にわたって実施。

「CLUB.MID」会報誌の発刊

- ・過去3年間累積としてMIDI検定3級合格者
第1回 平成11年1月 応募者数 2,966名 合格者数 2,413名
第2回 平成12年1月 応募者数 2,737名 合格者数 1,542名
第3回 平成13年1月 応募者数 2,145名 合格者数 1,536名
合計 応募者数 7,848名 合格者数 5,491名
- ・3級合格者を対象にMIDI関連のニュースを中心に機関誌を制作・配布した(12年1月、
12年10月と2回発行)

(8)1394プロジェクト

11回の全体会議にて検討

- ・AMSWG(Audio Music Silicon Working Group)
AMプロトコルに適したチップ仕様の検討、市場調査をし、ヤマハより仕様提案があり、
WGは一旦収束
- ・MPWG(Music Protocol Working Group)
1394利用の伝送仕様は策定完了。
- ・CMWG(Connection Management Working Group)

コネクション管理のための仕様策定、他の 1394TA(Trade Association) 仕様を踏襲しつつ
業界に最適な枠組みの検討、1394TA への仕様提案

1 月 TA クォーターリー会議（ハワイ）に仕様案提示

2 月 TA オフサイクル会議にて仕様修正案提示

2 月 MMA との会議に提案、協同進捗を確認

「デジタルミュージックフェア」にて

- ・ プロジェクトメンバー11 社の協力のもと、パネル、チラシ等も作成、展示 1394 による接
続デモを古山氏に依頼、普及促進を計った。

（ 9 ）透かし推進プロジェクト

合計 10 回のミーティングを開催

AMEI 標準 MIDI 電子透かし方式、技術仕様を決定。

- ・ 他透かし技術との親和性実験
- ・ 透かし埋め込みツールの安全な配布方法の検討
- ・ 埋め込んだ透かしの読み出しツールの使用方法検討
- ・ IMSC (International Standard MIDI Code) のコード規格設定検討

AMEI 標準 MIDI 電子透かしの運営を検討

- ・ ISMC の AMEI 管理運用サーバーの検討
- ・ 透かしツールの名称「MIDI サイン」の決定と商標デザイン案作成
- ・ JASRAC との提携（インタラクティブ配信・DAWN2000 の減額基準との整合性）を検討
協議
- ・ 標準透かしの会員への提供システムの検討（契約書）

（ 10 ）広報委員会

- ・ 会報を平成 12 年 7 月 14 日、11 月 27 日、平成 13 年 3 月 30 日 計 3 回発行
- ・ AMEI ホームページ会員用ページの充実（ニュースの迅速性、会員用に議事録を掲載、英
文の充実）

（ 11 ）海外視察団の実施

- ・ MIDI 規格委員会主催にて
米国 NAMM 視察団の実施（平成 13 年 1 月 17 日 ~1 月 23 日 21 名参加）
NAMM ショウ 音楽電子事業の視察、情報収集
米国 MMA 総会出席及びオフィシャル・ミーティングの実施（視察団）
- ・ 1394TA (Trade Association) への提案事項の報告、モバイル MIDI の承認を求める。